



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会 2012年（平成24年）8月5日号 No. 1569

目次

■ ロシアの自動車リサイクル税導入をめぐる	坂口 泉 1
■ 統計速報	5
2012年1～6月のロシア経済と鉱工業生産	／ 5
2012年1～6月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績	／ 9
2012年1～6月の日ロ貿易	／ 10
■ トピックス	11
近鉄エクスプレスの現法、トリヤッチに事務所	／ 11
マツダが「Mazda6」をモスクワで世界初公開	／ 11
日ウクライナ原発事故後協力合同委員会	／ 12
ロシア・プスコフ州に経済特区	／ 12

ロシアの自動車リサイクル税導入をめぐる

ロシアNIS経済研究所 部長

坂口 泉

はじめに

2011年末にロシアのWTO加盟が決定した際に、あるロシア政府の高官が、「WTO加盟後の輸入関税率の引き下げに伴い中古車の輸入量が急増するという事態を回避するための措置を検討している」という主旨の発言を行った。自動車関係者の間では、この発言が具体的に何を意味するのかという点に注目が集まっていたが、2012年春になり、輸入中古車および商用車に対し特に高い税率を適用することを想定した「リサイクル税」を導入することをロシア側が検討していることが判明した。その具体的内容や導入時期については様々な噂が出ていたが、7月末にリサイクル税に関する法案にプーチン大統領が署名し、9月1日からの導入が決定した。

肝心の税率に関してはまだ最終的な結論が出ていないが、日本の自動車関係者のこの問題に対する関心は非常に高く、お問い合わせも多いので、現時点で判明している同税の概要をご紹介しますこととする。